

函館五稜郭病院 CT 室紹介

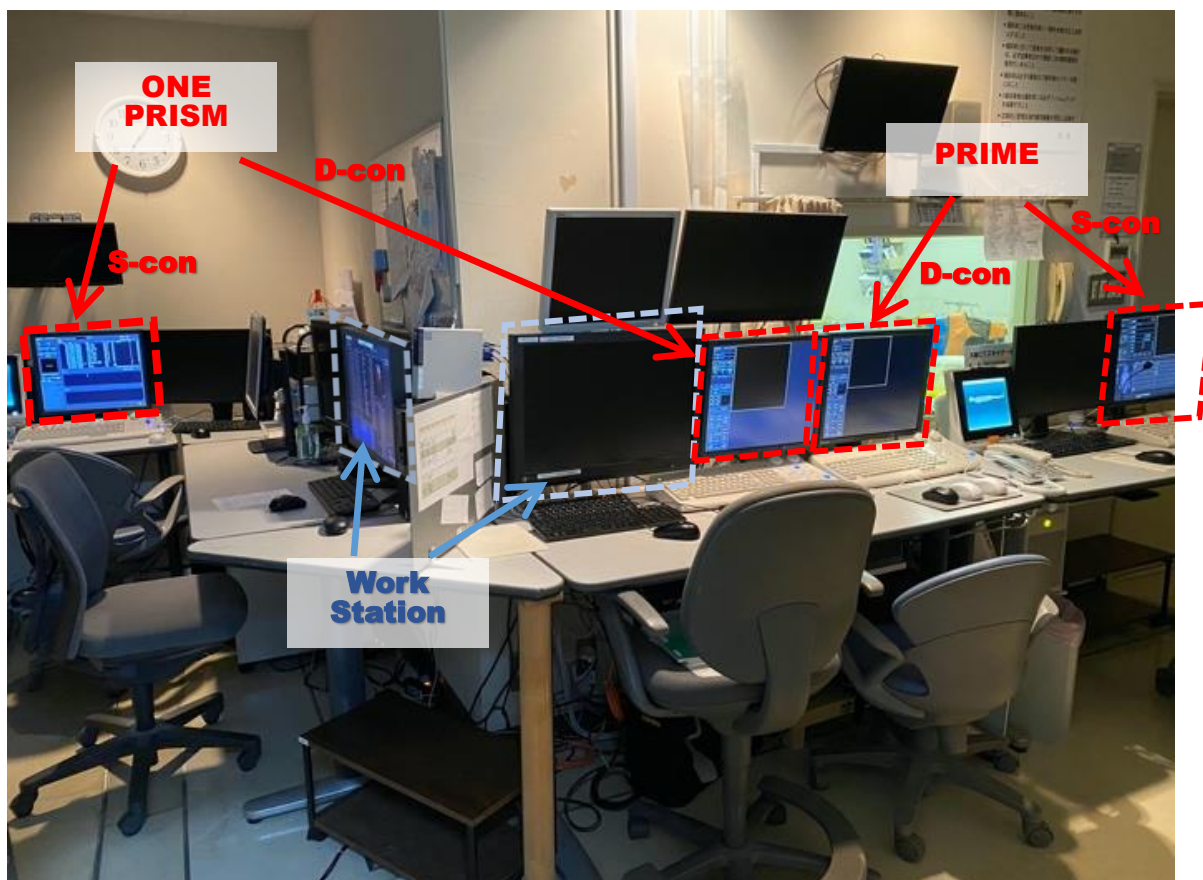
大須田恒一

皆さん、こんにちは。函館五稜郭病院 医療部放射線科 大須田恒一と申します。

今年2月にAquilion ONE PRISM editionを導入した当院のCT室をご紹介します。

当院はCT装置2台(Aquilion ONE PRISM Edition / Aquilion PRIME Beyond Edition)が稼働しており、撮影担当2名、画像確認および検査進捗管理担当、画像処理担当の計4人で運用しています。

今回の機器更新を機に、"コンソールを中央に集める"という思い切った操作室レイアウトにしてみました。この半年間で感じた良いところをご紹介します。



操作室の配置。CT2台のDコンやWSなどを1か所に集約しています。

函館五稜郭病院 CT 室紹介

大須田恒一

日々の検査件数は、予約検査約 55 件+予約外検査で 90 件前後です。

以前は 1 人 1 台を担当していました。撮影から画像転送まで担当しておりましたが、検査が混雑してくるとミスが出ることも多々ありました。

新しいレイアウトでは撮影業務と画像転送業務を区別したため、撮影担当者は医師の期待にしっかり応えるよう撮影に専念することができます。

検査進捗管理(予約外検査受付)担当者は 1 日を通して進捗管理を行うので混乱も少なく、情報を一元管理して責任を持って業務にあたることができます。

撮影担当と画像転送担当を別にすることでダブルチェック効果も期待できますし、若手技師にとっては忙しい中でも症例を学ぶ機会にもなります。

狭い操作室スペースを有効活用するために机を壁に沿って並べてみたところにフックと思いついただけの案でしたが、やってみると意外と便利です。

さらに嬉しいことに撮影と進捗管理を区別するのは看護師さんにとっても都合が良いようです。画像処理・画像転送を待つ時間ありませんし、いつでも撮影担当者に話しかけられるので業務のペースがつかみやすいと好評なのでとてもオススメです。

見学もお待ちしております。函館に観光でお越しの際はぜひお立ち寄りください。

函館五稜郭病院 CT 室紹介

大須田恒一



搬入の様子。真冬の駐車場に足場を組みクレーンで2階の窓から搬入しました。